※令和４年度以降入学生用

学校番号	3036

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎演習Ⅱ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	生物基礎（第一学習社）						
副教材等	新課程版　セミナー生物基礎(第一学習社) 二訂版　ニューステージ生物図表(浜島書店) ビーライン生物基礎（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「生物とは何か？」この問いにあなたはどのように答えますか？皆さんが学習する「生物基礎」の授業では，すべての生物が共通して持っている性質（共通性）と，生物の種によって異なる，非常に多彩で豊かな性質（多様性）について，その基礎となる知見を学びます。
　生物とは何か，人間とは何か，という疑問を解くための考え方や方法を演習ととおしてさらに深めていきましょう。

2　学習の到達目標

生物や生物現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して，科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）　生物学における基本的な概念，原理・法則などについて系統的な理解を深め，科学的に探究するために必要な知識や技能を身につけるようにする。

（２）　生物や生物現象に関して，資料の読み取りなどを行い，科学的に探究する力を養う。

（３）　自然に対する関心を高め，事物・現象を科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について，基本的な概念や原理・原則を理解し，知識を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし，探究する課程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち，意欲的に探究しようとするとともに，生物の共通性と多様性を常に意識するなど，科学的な見方や考え方を身に付けている。観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	生物の多様性と生態系 生物の特徴・ヒトのからだの調節	問題演習	a:生物の共通性や多様性，ヒトの体の調節のしくみ，バイオームや生態系の保全について知識を身に付けている。 b:思考力を要する複雑な現象であっても，高校生物の知識・技能を用いて考察し，それを表現できる。 c: 自身の学習の記録から，学んだことを振り返って把握することができる。	定期考査	定期考査	学習の記録と振り返り
２学期	生物の多様性と生態系 生物の特徴・ヒトのからだの調節	問題演習	a:生物の共通性や多様性，ヒトの体の調節のしくみ，バイオームや生態系の保全について知識を身に付けている。 b:思考力を要する複雑な現象であっても，高校生物の知識・技能を用いて考察し，それを表現できる。 c: 自身の学習の記録から，学んだことを振り返って把握することができる。	定期考査	定期考査	学習の記録と振り返り
３学期	生物の多様性と生態系 生物の特徴・ヒトのからだの調節	問題演習	a:生物の共通性や多様性，ヒトの体の調節のしくみ，バイオームや生態系の保全について知識を身に付けている。 b:思考力を要する複雑な現象であっても，高校生物の知識・技能を用いて考察し，それを表現できる。 c: 自身の学習の記録から，学んだことを振り返って把握することができる。	配布プリント等の学習状況	配布プリント等の学習状況	学習の記録と振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度